

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-4-041
補助事業名 平成24年度（復興支援）被災者に対する生活支援活動 補助事業
補助事業者名 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「小学児童を対象としたサマーキャンプ実施」

サマーキャンプの実施は、カウンセリング活動の一環と位置づけており、キャンプを通じてカウンセラーと被災児童、あるいはそれを支援する学生と被災児童らの交流をはかり、より円滑な心のケアを実現することにつながる。したがって、目指すアウトカムは、児童生徒の精神的安定と、本来の教育環境再生である。

(2) 実施内容

大街道小学校3年～6年の児童95名、保護者6名、教職員5名、付き添い看護師2名を松本市へ招き、松本大学サマーキャンプを開催した。サマーキャンプの企画運営は学生スタッフと教員が担当し、「心のケア」と体験学習を念頭に計画を立て、地域の協力を得ながら学生が中心になり運営した。宿の確保、送迎バスの確保、資金確保と会計処理等、実施に伴う事務処理は教職員が担当して、学生、教職員が協力して対応に当たった。

学生の企画したサマーキャンプの実施内容は以下の通りである。

① 送迎バス内でのプログラム

片道9時間の長いバスの旅。児童達が飽きないようにバス送迎班の学生達が、クイズをしたり、松本の説明をしたりと児童達の気持ちを和ませる工夫をした。帰りも、思い出を話し合ったり、ビデオを見たりと元気一杯。学生の工夫のお陰で、来る時も帰る時も大きなトラブルもなく、皆無事に大街道小学校に到着し帰路についた。

② グループリーダー（生活班）の活動

2泊3日のホテル（浅間温泉での活動）での児童の世話をする係が生活班の学生である。一人で1～2部屋の児童約7名の面倒をみる。健康状態のチェック、食事の進み具合、忘れ物や無くし物の世話まで、興奮して夜更かしする児童に付き合い、児童の眠ったあとまで布団を直すなど、見守っていた。児童立ちは、7日の昼間のプログラム（A・B・Cコース）以外は、いつも生活班の学生と一緒に行動した。

③ コース別プログラム（2日目の体験学習と見学など）

・Aコースの活動内容 ー松本城下町ラリー「城下町のナゾをとときあかせ！」ー

活動場所：松本市街地（松本城・松本城周辺 松本市大正ロマンの街土上）

松本大学の学生が作ったクイズやミニゲームをしながら松本城や城下町を探索し、城下町の体験学習を行った。

- ・ Bコースの活動内容 ー自然体験コース「夏の暑さをふきとばせ！」ー

活動場所：上高地の下流域（松本市梓川 梓水苑）

松本を流れる梓川で松本の自然を思いっきり体感することを目的としたコースである。児童は水着に着替えて川遊び、虹鱒の掴み取り（生けず作りから皆で実施）、野菜収穫体験。信州の自然の中で、大学生を相手に思いっきり楽しい時間を過ごした。

- ・ Cコースの活動内容 ー安曇野・八面大王コース「八面大王に会いに行こう！」ー

活動場所：安曇野平（安曇野市周辺）

松本名物の蕎麦打ち体験、おやきづくり体験、虹鱒の串打ち体験・塩焼き体験、畠での野菜収穫体験、それらを使って天ぷら揚げ体験、地域の方や学生に指導してもらい、地産地消の食事など初めての体験ばかりであった。

- ・ ミニ縁日

夕食を済ませ、浅間温泉の皆さんが用意したミニ縁日へ全員参加。浅間温泉内の広場で、全員で蕎麦音頭を踊ったり、ビンゴ、射的にスイカ割り。松本大学天文学部の学生が望遠鏡で見せてくれた土星の輪に歓声。屋台（ご当地B級グルメ山賊焼、焼き鳥、かき氷、スイカ食べ放題）も出てお祭り気分。地元の小学生や浅間温泉のお客さんも加わって、皆一緒に楽しい時間を過ごした。



2 予想される事業実施効果

大街道小学校および小学校区を一年間通して支援活動を続け、信頼関係を育み、その結果として被災地のニーズに添った支援活動を実現できる体制を整えつつある。今回のサマーキャンプもその線上にあり、小学校側の希望に応える形で実施することになった。この関係は、今後さらなる復興支援に向けて発展することが期待される。

具体的には、併行して実施している、本学の専門家による心のケア（カウンセリング支援）や学生達による学習支援に直接的な効果が期待されている。

3 本事業により作成した印刷物等 特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名：松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト

(フリガナ) マツモトダイガクヒガシニホンダイシンサイサイガイシエンプロジェクト

住 所：〒390-1295

松本市新村2095-1

代 表 者：役職名 総合経営学部長 (フリガナ) ソウゴウケイエイガクブチョウ

担 当 部 署：木村 晴壽 (フリガナ) キムラ ハルヒサ

電 話 番 号：0263-48-7200

F A X：0263-48-7290

E - m a i l：kimura@matsu.ac.jp

U R L：<http://www.matsumoto-u.ac.jp/2011/tohokuproject/>